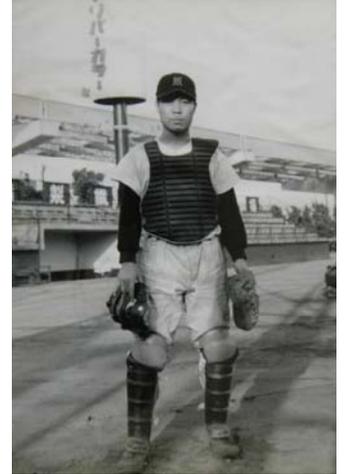


「 50年前高校3年の夏 母校 県立尼崎高校
 高校野球 兵庫大会 準優勝の記録 」

捕手一筋 裏方精神を胸に
 最高齢・最高のグリーン キーパーをめざす

平成24年3月 捕手一筋

加司 淳



若き日 ポールを追っていた時代

加司 淳

【ラジオ番組投稿録】

捕手一筋裏方精神を胸に 最高齢 最高のグリーンキーパーをめざす

グリーンキーパー 加司 淳



番組録音

ABC朝日放送「おはようパーソナリティ道上洋三です」 2011.10.12.放送
 【いわせてもらうならば「生涯捕手一筋」より】

いわせてもらうならば グリーンキーパーの立場から



再生: 上記左端の  にマウスの↑を乗せてクリックしてください
<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/1204kajiabc.wav>



同窓会 ありがとう
 術後心臓が弱っているし、今回は是非皆に会いたくて。
 みんなに会えて満足しています。

捕手一筋の裏方精神で人には謙虚に何事にも積極的に
 50年間頑張ってきました。

お世話になった母校「県尼」を全国にABCラジオでPRし、
 少しでも恩返しできました。

そのCDを県尼37会の少しでも多くの方に聞いていただき、
 何かを感じ、体を大切にしていれば幸いです。

2012.3.28. 加司 淳

1. 記憶が蘇ってくる昭和36年7月 高校野球夏の決勝戦 甲子園球場

あの 熱戦の光景と興奮がいまもありありと目に浮かぶ

報徳、初の栄冠！！

昭和36年夏 高校野球兵庫大会 決勝

県立尼崎高校/報徳学園

県立尼崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報徳	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	X

県立尼崎	報徳
6 岡本 4 1 0 0	8 内藤 4 2 0 0
9 本家 4 0 0 0	9 藤江 3 1 0 0
4 本家 4 0 0 0	9 貴田 0 0 0 0
2 福良 4 1 0 0	7 大野 4 1 0 0
8 加司 2 0 0 0	5 藤田 4 1 0 0
3 垣添 1 0 0 0	6 清井 2 0 0 0
7 坂本 3 0 0 0	3 吉村 3 1 0 0
1 中前 1 0 0 0	2 高橋 4 1 0 0
1 野村 1 0 0 0	4 谷口 2 0 0 0
5 北原 3 0 1 1	4 小田 2 0 0 0
	1 酒井 3 1 0 0

報徳が創部30年にして悲願の優勝旗を手に入れた。
報徳は4回先頭打者、藤田が無死から三連塁を破る内野安打。続く清井の送りバントで二塁に進めた。
2死後、高橋は県立尼崎の先発中前の2球目をカーブ振り抜いた。打球は遊撃手、岡本の左を抜けセンターへ転がって行く。
報徳の三塁コーチー 西川の右手がぐるぐる回る。2塁走者藤田は三塁ベースを蹴って本塁へ。
センター 福良からの返球も及ばず藤田は本塁にヘッドスライディング！先制点を挙げた。
さらに6回の裏、報徳は一死後清井が敢死で生きたとすかさず2盗。続く吉村の右前通時打で貴重な追加点を挙げた。

県立尼崎は初回、2回、5回と先頭打者を出すがいずれもバントに失敗。
さらに2回には報徳の二塁手谷口が右を抜けようかという安打性の当たりを逆シングルで好捕、目の前を走る加司にタッチ、すぐ1塁に送球して垣添もアウトにするという美技もあり、試合の主導権を奪えなかった。
3回以降は立ち直った酒井投手の連球の前に一四球の出塁のみと抑えられた。
バントにことごとく失敗した県立尼崎に対して報徳は機動力を使った攻撃と再三見せた好守で酒井をもり立て、初の栄冠に輝いた

第43回	1961(昭和36)年
兵庫	県立尼崎
2回戦	○ 3 - 2 洲本
3回戦	○ 1 - 0 社
4回戦	○ 7 - 0 県伊丹
準々決勝	○ 5 - 2 滝川
準決勝	○ 5 - 3 尼崎北
決勝	● 0 - 2 報徳学園

その後の甲子園夏の大会で 報徳は甲子園球史に残る大逆転

甲子園史上に残る大逆転！
報徳11回裏、怒濤の攻撃！！

全国高校野球選手権大会、1回戦

倉敷工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
報徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1

朝日新聞 報徳学園 昭和33年～兵庫大会戦績より

<http://www.ne.jp/asahi/hotoku/mypage/MyPageS3.htm>

熱風砂を撒く時も 峻烈の風吹く時も
我等はさらに勢いたち 牡獅子のごとく行かんとす
おお尼高 人と燃ゆる 若き命を讃えばや
フレー尼高 フレー尼高 フレー オー オー



2. 【ラジオ番組投稿録音】

捕手一筋 裏方精神を胸に 最高齢 最高のグリーンキーパーをめざす

グリーンキーパー 加司 淳



ABC朝日放送「おはようパーソナリティ道上洋三です」

〔いわせてもらうならば「生涯捕手一筋」2011.10.12.放送より〕

「[いわせてもらうならば グリーンキーパーの立場から](#)」

<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/1204kajabc.wav>



同窓会 ありがとう

術後心臓が弱っているし、今回は是非 皆に会いたくて。

みんなに会えて満足しています。

捕手一筋の裏方精神で 人には謙虚に 何事にも積極的に
50年間頑張ってきました。

お世話になった母校「県尼」を全国にABCラジオでPRし、少しでも恩返しできました。

そのCDを県尼37会の少しでも多くの方に聞いていただき、

何かを感じ、体を大切にいただければ幸いです。

2012.3.28. 加司 淳

インターネット home page に 放送録音 ならびに 記事があります

◎ 県尼37会 home page 加司淳さん [3年1組] の投稿録音

グリーンキーパー 加司 淳「生涯捕手一筋 裏方精神」を胸に

<http://www.infokkna.com/ama37kai/2012/1203kaji00.htm>

◎ 「和鉄の道・Iron Road」 by Mutsu Nakanishi home page From Kobe 2012. 4月 2012.4.1.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/wak9/1204kobe00.htm>



若き日ボールを追っていた時代



昭和36年夏 兵庫大会決勝を戦ったメンバー
卒業50年記念同窓会で 2012.3.7.



2011.7月 兵庫大会 県尼 スナップ より



現在の県立尼崎高校 正門前 2012.3.7.

兵庫大会 決勝戦 県尼崎 0 - 2 報徳

報徳、初の栄冠！！ 県立尼崎高校準優勝

昭和36年夏 高校野球兵庫大会 決勝
 県立尼崎高校/報徳学園

県尼崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報徳	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×

県尼		報徳			
6	岡本	4	1	0	0
9	純	4	0	0	0
4	本家	4	0	0	0
9	福良	4	1	0	0
2	加司	2	0	0	0
3	坂本	1	0	0	0
7	中前	1	0	0	0
1	野村	1	0	0	0
5	北原	3	0	1	0
		8	内藤	4	2
		9	磯江	3	1
		9	賀田	0	0
		7	大野	4	1
		6	藤田	4	1
		5	清井	2	0
		3	吉村	3	1
		2	高橋	4	1
		4	谷口	2	0
		0	小田	2	0
		1	酒井	3	1

報徳が創部30年にして悲願の優勝旗を手に入れた。
 報徳は4回先頭打者、藤田が無死から三遊間を破る内野安打。続く清井の送りバントで二塁に進めた。
 2死後、高橋は県尼崎の先発中前の2球目をカーブ振り抜いた。打球は遊撃手、岡本の左を抜けセンターへ転がって行く。
 報徳の三塁コーチ西川の右手がぐるぐる回る。2塁走者藤田は三塁ベースを蹴って本塁へ。
 センター福良からの返球も及ばず藤田は本塁にヘッドスライディング！先制点を挙げた。
 さらに6回の裏、報徳は一死後清井が散失で生きるとすかさず2盗。続く吉村の右前適時打で貴重な追加点を挙げた。

県尼崎は初回、2回、5回と先頭打者を出すがいずれもバントに失敗。
 さらに2回には報徳の二塁手谷口が右を抜けようかという安打性の当たりを逆シングルで好捕、目の前を走る加司にタッチ、すぐ1塁に送球して垣添もアウトにするという美技もあり、試合の主導権を奪えなかった。
 3回以降は立ち直った酒井投手の連球の前に一四球の出塁のみと抑えられた。
 バントにことごとく失敗した県尼に対して報徳は機動力を使った攻撃と再三見せた好守で酒井をもり立て、初の栄冠に輝いた

第43回	1961(昭和36)年	
兵庫	県尼崎	
2回戦	○ 3 - 2	洲本
3回戦	○ 1 - 0	社
4回戦	○ 7 - 0	泉伊丹
準々決勝	○ 5 - 2	滝川
準決勝	○ 5 - 3	尼崎北
決勝	● 0 - 2	報徳学園

その後の甲子園夏の大会で 報徳は甲子園球史に残る大逆転
甲子園史上に残る大逆転！
報徳11回裏、怒濤の攻撃！！

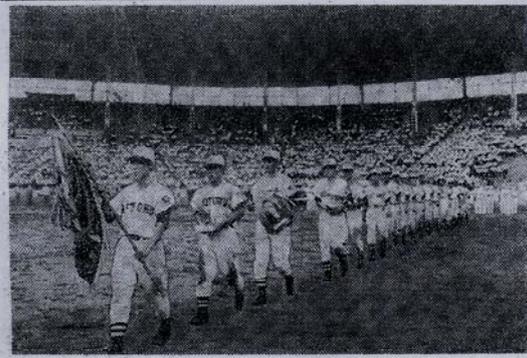
全国高校野球選手権大会、1回戦

倉敷工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
報徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1

(延長12回)

朝日新聞 報徳学園 昭和33年～兵庫大会戦績より
<http://www.ne.jp/asahi/hotoku/mypage/MypageS3.htm>

昭和36年(1961年) 8月3日(木曜日) 第 四 日 彙 刊



(左) 野村、(右) 加司、(中) 福良、(右) 岡本、(左) 純、(中) 本家、(右) 坂本、(左) 中前、(右) 野村、(左) 北原、(中) 酒井、(右) 藤田、(左) 清井、(中) 高橋、(右) 谷口、(左) 小田、(中) 酒井

栄冠!! 初出場の報徳(一)に

高校野球兵庫大会決勝戦は甲子園球場に報徳、県尼崎の優勝旗を甲子園大会への最後の戦いとして掲げ、初出場の報徳に輝かせた。

ゲームは報徳に有利な展開で、報徳が先発投手の藤田が活躍の場を演出し、報徳は11回裏に怒濤の攻撃で逆転勝利を挙げた。

これで五月十六日の県下十八大会出場、一引当りを受け八十試合は勝ち負け、初の甲子園は十一月から甲子園で開幕される全国大会への出場権を得た。

夏の高校野球 兵庫大会

…決勝戦…

報徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尼崎	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×

この酒井のピッチングを崩壊させた報徳の打撃は四回裏打に達した。左前打者の藤田が活躍の場を演出し、報徳は11回裏に怒濤の攻撃で逆転勝利を挙げた。



キャプテンの本家を中心に 福良・岡本・坂本・北原・加司が大活躍。多くの応援のおかげで活躍することが出来た。応援ありがとう

準優勝の悔しさをバネに頑張ってきた50年だからこそ 今の立派な6人があり、準優勝でよかったことに気が付いた。

2012. 3. 30. 加司 淳

